

現地に立ち、フクシマの現実を学びました！

## 第9回グリーンジョブ研修フクシマ開催！



夜の森のさくら祭「とみおかワイナリー」のブースにて



富岡町 東日本大震災慰霊之碑



浪江町 福島水素エネルギー研究フィールド

4月5日、「第9回グリーンジョブ研修フクシマ」を開催しました。富岡駅からスタートし、駅近くにある「富岡町 東日本大震災慰霊之碑」で黙祷を捧げました。「とみおかアーカイブ・ミュージアム」では、富岡町の歴史と震災で直面した困難について学びました。その後、「夜の森 桜まつり 2026」に参加し、富岡町の現在と未来に向けてのパワーに触れました。「とみおかワイナリー」のブースでは遠藤代表より、とみおかワイナリーの歩みや地域が抱える課題、そして100年先を見据えた地域づくりについてお話をいただきました。そして、双葉町と浪江町では町の現状を目の当たりにし、浜通り地方で推進されている「福島イノベーション・コースト構想」の国家プロジェクトについても学習しました。

東日本大震災から15年が経過しました。JTSUは、震災での経験を未来に継承するとともに、鉄道やバスにおけるクリーンなエネルギーと働き方を志向します。そして、「組合員の安全労働・健康労働」と「利用する乗客の安全と安心」を守るために、JTSU議員懇談会の皆さんや、専門家や有識者のご意見・アドバイス、ご支援いただいている皆さんのご協力を得ながら、昨年まとめた「鉄道業における安全基準(ガイドライン)の立法化の実現」を目指し、地域の皆さんと「共に歩み、共に生きる」という地域共生運動を実践していきます。